

ごあいさつ

会長 岩佐幸恵（徳島大学医歯薬学研究部）



今年は、新型コロナウイルス感染症で始まり、このウイルスとの戦いは現在もなお続いています。会員の皆様におかれましては、それぞれの立場で対応に奔走しご尽力されていることと存じます。最前線で奮闘されている皆様には、心より敬意を表します。

ナイチンゲール生誕 200 周年のこの年に、人々の健康に清浄な空気の大切さが強調されるのは、偶然ではなく必然と感ずります。世界的なパンデミックに、改めて看護の力が問われているように思います。

今こそ、看護研究によって培われたエビデンスを社会に示し、新たなエビデンスを作り上げる時ではないでしょうか。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、看護活動や研究活動に制約が生じているのも現実です。中国・四国地方会の学術集会も、また全国学術集会も Web 開催となり、顔を合わせて研究者が交流することはできませんでした。一方で、私たちの仕事における ICT 化は加速しました。本地方会の運営委員会も Web 会議で開催されています。学術集会も場所や時間に制約されることなく、全国どこからでも、一定期間の間であればいつでも参加することが可能になり、参加の自由度はあがりました。

新型コロナウイルス感染症がいつ終息するのか予測できない状況で、元の世界に戻ることを待っていたのでは、先には進めません。禍を転じて福と為す。コロナ禍を超えた先に、新たに拓けた世界が見えるよう頑張りたいと思っています。

試練の時ですが、会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

第 33 回学術集会が徳島で WEB 開催されました

実行委員長 徳島文理大学 吉永 純子

第 33 回日本看護研究学会中国・四国地方会学術集会は「探究心を育み実践を支える看護研究」をテーマに、令和 2 年 3 月 8 日から 14 日まで、徳島文理大学において WEB 開催いたしました。今回は、地方会の地域枠を越えて交流の輪を広げるため、中国・四国地方会以外の会員の皆様にも広くご案内をさせていただきました。看護研究の最初の一步を踏みだす若い研究者が大学を越えて交流し、学会発表を経験されることで、研究の芽を育てていただきたいという願いを込めて企画しました。中国・四国地方会の皆様をはじめ、中国・四国地方会以外からも多くの演題申込やお問い合わせをいただき、演題申込 83 演題、事前参加申込は一般 205 名、学部学生 32 名でした。

準備を進めておりましたところ、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大が予想され、参加者の皆様の安全を考慮して集合型開催を中止とし、PDF 書類による抄録内容の WEB 公開に変更いたしました。本学で、看護の学会を開催するのは初めてで、教員、大学院生、学部学生が協同して準備を進めており、集合型開催の中止は辛い決断でしたが、早期に適切な判断ができたことを何よりも安堵しています。企画運営だけでなく、急遽、開催方法を変更した決定におきましても、中国・四国地方会運営委員の皆様をはじめ、学会員の皆様から多大なご助言ご支援を賜りましたことを心より感謝申し上げます。



●令和元年度事業報告●

1. 会員数

平成31年4月1日時点 916名

2. 第33回学術集会開催

実行委員長：吉永純子先生（徳島文理大学）

日 時：令和2年3月8日（日）～3月14日（土）

方 法：Web開催

テーマ：探究心を育み実践を支える看護研究

演 題：83演題（一般45演題、学生38演題）

参加者：59名

3. 令和元年度総会開催

日 時：令和2年4月2日（木）～4月4日（土）

方 法：メール会議

4. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第1回運営委員会会議 令和元年8月21日（水）、

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

①第32回学術集会（香川）の報告

②運営委員選挙の地区割りの是正について案が示され話し合った。

③地方会学術集会参加資格の緩和について話し合い、今後は臨床の共同研究者が負担なく発表できるよう、筆頭者のみ会員とすることにした。

④学術委員会の活動報告

⑤広報委員会の活動報告

⑥第33回学術集会の準備状況

⑦入会手続きについて意見があった。

⑧第34回学術集会の準備状況

(2) 第2回運営委員会会議

令和2年3月30日（月）～3月31日（火）メール会議

①令和元年度事業報告

②令和元年度会計報告、監査報告

③令和2年度事業計画案

④令和2年度予算案

⑤第34回学術集会準備状況及び今後の学術集会について

⑥運営委員選挙の地区割り案

2) 学術委員会

(1) 令和元年度第1回学術委員会会議

令和元年8月21日（水）、運営委員会終了後に開催。

第33回学術集会（徳島）において、特別セミナー「調査票の作成」を企画していたが、Web開催となったため中止した。

3) 広報委員会

(1) 令和元年度ニュース・レターNo.27を9月に発行し、住所不明者を除く会員910名に送付した。

●令和元年度会計報告●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	1年度予算	1年度実績	差異
前年度繰越金	470,267	470,267	0
地方会補助金	478,500	458,000	- 20,500
学術集会準備金返金	300,000	300,000	0
雑収入	5	4	- 1
合 計	1,248,772	1,228,271	- 20,501

【支出の部】

(単位：円)

費 目	1年度予算	1年度実績	差異
事業費	20,000	5,500	- 14,500
郵送費	115,000	109,200	- 5,800
事務費	24,000	14,952	- 9,048
人件費	15,000	13,000	- 2,000
各種委員会活動費	70,000	106,707	36,707
印刷費	100,000	109,480	9,480
学術集会支援金	150,000	150,000	0
学術集会準備金	300,000	300,000	0
予備費	4,772	0	- 4,772
次年度への繰越金	450,000	419,432	- 30,568
合 計	1,248,772	1,228,271	- 20,501

●委員会より●

【学術委員会】

第33回学術集会「学術委員会主催セミナー」は、四国大学大学院 看護学研究科小川佳代先生を講師にお招きして「調査票の作成」を開催する予定でしたが、Web開催への変更に伴い中止となりました。小川先生をはじめセミナー参加申し込みをして下さいました皆さま、誠に申し訳ございませんでした。引き続き、会員の皆さま方の研究活動に少しでも貢献させていただけるよう委員一丸となって取り組んで参りますので、ご指導ご協力の程よろしく願い申し上げます。

(委員長：小村三千代)

【広報委員会】

令和2年、ニュースレターNo.28をお届けします。

コロナ禍でいろいろなことがままならない状況ですが、広報では今後も地道に会員の皆様へ必要な情報を発信していきます。

(委員長：津本優子)

●令和2年度事業計画●

※年度当初の計画からの変更を赤字で示しています。今後も新型コロナウイルス感染症の流行の動向をみながら随時、変更・修正していきます。

1. 第34回学術集会開催

実行委員長：松森 直美 先生（県立広島大学）

日 時：令和3年3月7日（日）

⇒ 7日～21日

場 所：県立広島大学

⇒ Web開催（オンデマンド方式）

テーマ：地域創生時代を拓く看護研究

2. 令和2年度総会開催

日 時：令和3年3月7日（日）

⇒ 日時未定

場 所：県立広島大学

⇒ メールまたはWeb開催の予定

3. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第1回

日 時：令和2年8月27日（水）又は28日（金）

⇒ 9月3日（木）

場 所：日本看護研究学会 第46回学術集会会場

札幌コンベンションセンター内

⇒ Web開催

(2) 第2回

日 時：令和3年3月6日（土）

第34回学術集会前日

場 所：県立広島大学（予定）

⇒ メールまたはWeb開催の予定

2) 学術委員会

(1) 第1回

日 時：令和2年8月27日（木）又は28日（金）

運営委員会終了後～（予定）

場 所：日本看護研究学会 第46回学術集会会場

札幌コンベンションセンター内

⇒ 本学会 web 開催によりメール会議

(2) 第2回

日 時：令和3年3月6日（土）

第34回学術集会前日運営委員会終了後～

場 所：県立広島大学（予定）

⇒ メールまたはWeb開催の予定

3) 広報委員会

(1) 令和2年度ニュース・レター No.28 を9月に発行、会員約1000名に送付する。

(2) 第1回

日 時：令和2年8月27日（木）又は28日（金）

運営委員会終了後～（予定）

場 所：日本看護研究学会 第46回学術集会会場

札幌コンベンションセンター内

⇒ 本学会 web 開催によりメール会議

(3) 第2回

日 時：令和3年3月6日（土）

第34回学術集会前日運営委員会終了後～

場 所：県立広島大学（予定）

⇒ メールまたはWeb開催の予定

●令和2年度予算●

【収入の部】

（単位：円）

費 目	1年度実績	2年度予算案	差異
前年度繰越金	470,267	419,432	- 50,835
地方会補助金	458,000	458,000	0
学術集会準備金返金	300,000	300,000	0
雑収入	4	4	0
合 計	1,228,271	1,117,436	- 50,835



●令和2年度予算●

【支出の部】

（単位：円）

費 目	1年度実績	2年度予算案	差異
事業費	5,500	20,000	14,500
各種委員会活動費	106,707	70,000	- 36,707
印刷費	109,480	115,000	5,520
人件費	13,000	15,000	2,000
学術集会支援金	150,000	150,000	0
学術集会準備金	300,000	300,000	0
郵送費	109,200	115,000	5,800
事務費	14,952	15,000	48
予備費	0	2,436	2,436
次年度への繰越金	419,432	375,000	- 44,432
合 計	1,228,271	1,117,436	- 50,835

一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会第34回学術集会のご案内

新型コロナウイルス感染症拡大により、今までに経験したことのない様々な対応に日々追われていることとお察し申し上げます。

さて、この度、第34回学術集会を開催することになりました。「超・超高齢社会」を迎え、特に中国・四国地方は約1割の人口減少が予測されている中で、地域を維持し創生していく時代に看護職者、看護研究者に何ができるのか、感染症対策を含め参考となる知見を得る機会にしたいと考えています。尚、広島でお会い出来るのを楽しみにしておりましたが、現地開催からWeb開催へ変更します。近県から遠方まで、ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

実行委員長 松森 直美（県立広島大学保健福祉学部看護学科）

■プログラム

テーマ：地域創生時代を拓く看護研究

会 期：2021年3月7日（日）～3月21日（日）：WEB視聴期間（予定）

○教育講演

テーマ：よい理論ほど実践的なものはない：家族同心球環境理論と実践の融合

講 師：法橋尚宏氏（神戸大学・教授）

○シンポジウム

テーマ：地域で拓く在宅看護の可能性

シンポジスト：餅田敬司氏（京都橘大学・准教授）

今村美幸氏（訪問看護ステーションあすか東広島）

濱本千春氏（YMCA 訪問看護ステーション・ピース）

○特別講演

テーマ：「看護覚え書き」を現代の視点で読む

講 師：金井一薫 徳島文理大学大学院看護学研究科教授

○一般演題 50題

○学生演題 30題

※ WEB開催への変更に伴い期間およびプログラムを変更する場合があります。

備考）Web開催の詳細については、第34回学術集会ホームページでお知らせいたします。

<http://34kangokenkyu-chushikoku.kenkyukai.jp/special/index.asp?id=32903>



（社）日本看護研究学会中国・四国地方会第34回学術集会事務局

日本看護研究学会中国・四国地方会第34回学術集会実行委員会

県立広島大学保健福祉学部看護学科内

〒723-0053 広島県三原市学園町1-1

E-mail: kenkyu34@pu-hiroshima.ac.jp

共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団



発 行 〒770-8509 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学大学院医歯薬学研究部看護教育学分野内
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局
発行責任者 会長／岩佐幸恵 広報委員長／津本優子